



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月13日

上場会社名 太平洋興発株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8835 URL http://www.taiheiyo.net/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 幹介  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 上原 與章 TEL 03-5830-1602  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	14,773	9.8	388	△3.4	372	△2.2	230	39.8
26年3月期第2四半期	13,450	0.0	402	△11.1	380	△12.4	164	△27.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 176百万円 (△10.9%) 26年3月期第2四半期 198百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	2.96	—
26年3月期第2四半期	2.43	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	37,943	14,270	36.5	177.91
26年3月期	37,943	13,941	35.6	181.51

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 13,841百万円 26年3月期 13,523百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	2.00	2.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.20	2.20

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	△3.2	800	△6.0	700	△10.8	400	0.6	5.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」を参照。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	77,834,489株	26年3月期	74,534,489株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	32,526株	26年3月期	30,920株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	77,784,665株	26年3月期2Q	67,804,706株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了している。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入力可能な情報に基づき作成したものであるが、実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる可能性がある。なお、上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付書類）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和策等により、企業収益や雇用情勢に回復の兆しがみえてきたものの、消費税増税による駆け込み需要の反動影響や円安の進行に伴う輸入原材料価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いている。

このような経済状況下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、前年同期と比較し、商事セグメントの輸入炭販売数量が増加したこと等により、売上高は147億73百万円（前年同期比9.8%増）となった。

また、利益面については、商事セグメントの船舶輸送が、天候不良による輸送数量が減少したこと等により、営業利益は3億88百万円（同3.4%減）、経常利益は3億72百万円（同2.2%減）と若干の減益となり、四半期純利益については2億30百万円（同39.8%増）となった。

なお、セグメントの業績は次のとおりである。

また、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較している。

#### ①不動産セグメント

当第2四半期連結累計期間は、前年同四半期連結累計期間に販売した分譲マンション（北海道帯広市）がなかったこと等により、売上高は13億18百万円（前年同期比12.0%減）となったが、賃貸事業において賃貸物件の修繕費を下期に繰延べしたこと等により、営業利益は3億95百万円（同2.8%増）となった。

#### ②商事セグメント

主力事業である輸入炭の販売数量が増加したこと等により、売上高は82億63百万円（同21.0%増）となったが、船舶部門の輸送数量が天候不良により減ったこと等により、営業利益は1億82百万円（同9.6%減）となった。

#### ③サービスセグメント

車検・整備業の不調等により、売上高は28億57百万円（同2.8%減）となり、営業利益は91百万円（同19.0%減）となった。

#### ④建設工事セグメント

建設工事の受注が前倒しになったことにより、売上高は11億30百万円（同14.3%増）となり、営業利益は50百万円（前年同期は11百万円の営業損失）となった。

#### ⑤その他のセグメント

農業用肥料の販売等、売上高は12億2百万円（前年同期比0.7%増）となったが、前連結会計年度に駆け込み需要のあった消石灰の販売が減少したこと等により、営業利益は40百万円（同54.4%減）となった。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、379億43万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少となった。この主な要因は、新規工事の受注により未成工事支出金が15億69百万円増加したことと、短期借入金返済等により現金及び預金が14億47百万円減少したこと等によるものである。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、236億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億29百万円減少となった。この主な要因は、短期借入金が9億66百万円減少したことによるものである。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、新株予約権発行による増資3億7百万円増加したこと等により、142億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億29百万円増加となった。この結果、自己資本比率は36.5%（前連結会計年度末は35.6%）となった。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、50億89百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ1億99百万円増加となった。また、前連結会計年度末に比べ14億65百万円減少となった。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりである。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は3億63百万円（前年同期は20億20百万円の支出）となった。これは、主に事業活動に伴う商品及び製品の輸入炭等の購入によるものである。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は15百万円（前年同期は6億円の支出）となった。これは、主に固定資産の取得によるものである。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は10億86百万円（前年同期は16億88百万円の収入）となった。これは、主に借入金の返済によるものである。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想については、現時点で平成26年5月14日に公表した計画から変更はない。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであるため、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がある。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はない。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はない。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,872	5,425
受取手形及び売掛金	4,401	3,246
販売用不動産	333	325
未成工事支出金	229	1,798
商品及び製品	3,017	4,367
原材料及び貯蔵品	207	181
その他	1,626	1,689
貸倒引当金	△32	△22
流動資産合計	16,656	17,010
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,955	4,838
土地	10,595	10,494
その他（純額）	928	887
有形固定資産合計	16,479	16,220
無形固定資産		
その他	85	73
無形固定資産合計	85	73
投資その他の資産		
投資有価証券	1,918	1,799
長期貸付金	245	235
差入保証金	2,076	2,066
その他	499	544
貸倒引当金	△19	△7
投資その他の資産合計	4,721	4,638
固定資産合計	21,286	20,932
資産合計	37,943	37,943

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,736	3,768
短期借入金	5,377	4,411
賞与引当金	225	231
じん肺補償損失引当金	4	42
その他	2,774	3,066
流動負債合計	11,119	11,520
固定負債		
社債	1,039	931
長期借入金	2,225	2,310
受入保証金	4,407	4,284
債務保証損失引当金	1,408	1,408
退職給付に係る負債	708	699
資産除去債務	173	174
その他	2,921	2,342
固定負債合計	12,883	12,151
負債合計	24,002	23,672
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,090	4,244
資本剰余金	3,198	3,352
利益剰余金	4,666	4,747
自己株式	△3	△3
株主資本合計	11,952	12,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	909	838
土地再評価差額金	668	668
退職給付に係る調整累計額	△7	△5
その他の包括利益累計額合計	1,570	1,500
新株予約権	2	—
少数株主持分	415	428
純資産合計	13,941	14,270
負債純資産合計	37,943	37,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	13,450	14,773
売上原価	11,582	12,902
売上総利益	1,867	1,870
販売費及び一般管理費	1,465	1,482
営業利益	402	388
営業外収益		
受取配当金	29	28
貸倒引当金戻入額	—	20
その他	60	36
営業外収益合計	90	85
営業外費用		
支払利息	77	73
その他	34	27
営業外費用合計	111	101
経常利益	380	372
特別利益		
固定資産売却益	5	5
その他	—	0
特別利益合計	5	5
特別損失		
固定資産除却損	7	5
債務保証損失引当金繰入額	25	—
じん肺補償損失	—	37
その他	2	11
特別損失合計	34	54
税金等調整前四半期純利益	351	323
法人税等	168	76
少数株主損益調整前四半期純利益	183	247
少数株主利益	18	16
四半期純利益	164	230

（四半期連結包括利益計算書）  
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	183	247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	△71
退職給付に係る調整額	—	1
その他の包括利益合計	15	△70
四半期包括利益	198	176
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	175	160
少数株主に係る四半期包括利益	22	16

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	351	323
減価償却費	308	326
固定資産売却損益（△は益）	△4	△4
固定資産除却損	7	5
受取配当金	△29	△28
受取利息	△2	△2
支払利息	77	73
投資有価証券評価損益（△は益）	—	9
売上債権の増減額（△は増加）	88	1,155
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,989	△2,884
仕入債務の増減額（△は減少）	△442	1,031
債務保証損失引当金の増減額（△は減少）	25	—
じん肺補償損失引当金の増減額（△は減少）	—	37
その他	208	308
小計	△1,402	352
利息及び配当金の受取額	32	30
利息の支払額	△83	△75
法人税等の支払額	△66	△141
法人税等の還付額	39	9
引受債務の支払額	△540	△540
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,020	△363
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△513	△123
固定資産の売却による収入	10	119
投資有価証券の取得による支出	△1	△0
投資有価証券の売却による収入	—	0
定期預金の増減額（△は増加）	△23	△18
その他	△73	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△600	△15
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
社債の発行による収入	346	—
社債の償還による支出	△156	△312
株式の発行による収入	—	304
短期借入れによる収入	3,925	2,435
短期借入金の返済による支出	△2,459	△3,682
長期借入れによる収入	507	700
長期借入金の返済による支出	△298	△334
配当金の支払額	△135	△149
その他	△39	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,688	△1,086
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△932	△1,465
現金及び現金同等物の期首残高	5,822	6,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,889	5,089

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はない。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年4月2日付で新株予約権を行使した結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が153百万円、資本準備金が153百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が4,244百万円、資本準備金が1,894百万円となっている。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	不動産	商事	サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,498	6,828	2,940	11,266	2,183	13,450
セグメント間の内部 売上高又は振替高	129	417	286	832	61	893
計	1,627	7,245	3,226	12,099	2,244	14,344
セグメント利益	384	202	113	700	77	777

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種機械及び電気設備等の製造修理、炭カル肥料・消石灰・石粉の製造販売を行っている。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	700
「その他」の区分の利益	77
セグメント間取引消去	6
全社費用（注）	△382
四半期連結損益計算書の営業利益	402

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門に係る費用である。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はない。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	不動産	商事	サービス	建設工事	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,318	8,263	2,857	1,130	13,570	1,202	14,773
セグメント間の内部 売上高又は振替高	131	300	183	36	651	21	672
計	1,450	8,563	3,041	1,166	14,222	1,223	15,446
セグメント利益	395	182	91	50	720	40	761

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、炭カル肥料・消石灰・石粉の製造販売を行っている。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	720
「その他」の区分の利益	40
セグメント間取引消去	0
全社費用（注）	△373
四半期連結損益計算書の営業利益	388

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門に係る費用である。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「建設工事セグメント」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更している。

これにより、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントにおいて、「建設工事セグメント」の売上高1,130百万円、セグメント利益50百万円を記載しており、「その他」が同額減少している。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はない。

(重要な後発事象)

該当事項はない。